# Mランドニュース Vol. 99

## 丹波ささ山校　平成27年6月1日発行

発　行　㈱篠山自動車教習所　　〒669-2436　兵庫県篠山市池上569
TEL．079-552-0815　FAX．079-552-3940　　発行責任者　井　本　　徹
http://www.sasayama-ds.com/　　E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

幸せすぎて幸せに
　気づかない人がたくさんいる

吉寿屋（よしや）会長　神吉　武司著
「生き方が変わる」
　ありがとうございますのひと言　より

## 二〇一五サイクルフェスタ

五月三十一日、Mランドサイクルフェスタを開催しました。今回は「笑顔で楽しくニ輪をもっと好きになる」をテーマに行ないました。

自動二輪車・原付のライディングスクールと自転車安全教室、「バイクの運転が初めて！」という人の体験乗車会、みなさん憧れのハーレーの試乗会など、「二輪」と名の付く乗り物をもっと好きになる「二輪の楽しさ再発見」のイベントになりました。

ライディングスクールでは、まず日常点検の基本的なポイントについて、丹波市のバイク専門店「バイクメカサービス」の中村様にお話しいただきました。

運転前の点検は重要です！

続いて運転では、「効率」をキーワードに、バランスが難しいターンのスクールを行ないました。慣れているはずの愛車でも「おっとっと！」と悪戦苦闘されていましたが、「スピードと安全」についてご理解していただけたものと思います。参加者からは「基本的な姿勢や目線、ブレーキ操作など、できていないことがたくさんありました」などコメントをいただきました。これからの安全運転に役立てば幸いです。

低速（左）・高速（右）で運転の仕方が変わります

自転車教室は屋外と屋内の二部構成とさせていただきました。安全に自転車を扱うために大切なことを、ペットボトル移動やスイカ割りなど、ゲームを通じて子供たちに楽しく体験していただきました。

片手では危ないね！

ルールを正しく覚えましょう

終了時には「自転車運転免許証」を発行。前回交付の方は「ゴールド免許証」に更新し、地域における自転車安全運転の先駆者となるようにお願いしました。

今回は三才から六十一才まで、ご家族・ご友人幅広い年齢層のご参加で、「二輪」を通して素晴らしい繋がりを感じさせていただきました。

会場は皆さんの笑顔でいっぱいでした！

これからもMランドは誰でも笑顔になれる場所を目指して成長します。ありがとうございました。

ライダーチーム　南勝　宏幸

## 手話教室

これまで環境月は月二回、篠山ろうあ協会　大内和彦様と臼井実加様より手話を教えていただいていることを何度かご紹介させていただきました。

もちろん、耳の不自由なゲストとのコミュニケーションをとることが目的です。この一年、日常使う手話を中心に教えていただきましたが、大内様からのご提案で教習の中で使う用語も、手話で学んでほしいと申し出をいただきました。

そこで、学科担当インストラクターが、教本からいくつかの用語や文例をピックアップし、その中から難易度の高い手話を教えていただきました。日常の基本的な手話でさえ多くの種類に戸惑うことがある上に、今回のように手や指の使い方が複雑多岐になると大変です。

しかし、間違えながらでも一所懸命に覚えようとする職員の姿勢に心強さを感じ、また、大内様　臼井様も事前に教材を作成準備してくださるなど、Mランド職員の手話教室に対する熱意には感謝のほかありません。

いつも熱心な大内様

このような環境の中、手話教室が続けられる幸せを感じ、ろうあ者が安心してお越しいただける教習所にしてまいります。

手話研修担当　近藤　沙代

## 創立五十三周年

五月二十七日、弊社は創立五十三周年を迎え、篠山自動車教習所からMランド丹波ささ山校となって十年となりました。

毎年、この日に記念式典を行ない、各方面でご活躍されている方々の講話をいただいております。今年は毎週水曜日にMランドのお茶席『三宝庵』でご指導いただいている、満仲弘恵先生より茶人 千利休のことば『和敬静寂』から

一、調和を保つ
　ものを扱うときも調和を考えて。
一、敬愛の心を持つ
　人やものに対して向き合うおもてなしの心。
一、自分の身も心も正しく保つ
　清潔を突き詰めると簡潔につながる。乱雑は不潔。
一、謙虚さが持つ美しさ
　自分の力量をわきまえて行動する。

四つのことばを教えていただきました。

何百年も前の教えが、今の私たちの目指すべきことと同じであることに驚きを感じます。

ご講話いただく満仲先生

続いて、小河会長より「世の中に役立つ会社」として取り組むことの大切や、「良くしようとすることに、終わりがないからやりがいがある」など、Mランドとしての原点をお話しいただきました。

職員全員で原点を胸に刻み・・・

毎年、創立記念を迎えるにあたり、自分自身「去年より成長しているか」と自問します。満仲先生、小河会長のおことばを踏まえて、ただ時間の流れる一年ではなく、自分を褒めることができる一年にしてまいります。

研修チーム　永見 倫幸

## 切磋琢磨

Mランドの朝は、タイルを磨く音がそこかしこから聞こえてきます。先月に続き「そうじのカプロジェクト」の取り組みの紹介です。

各班の独自性を発揮して整理・整頓・清掃をし、一ヶ月の成果をリーダー研修会で発表します。これにもとづき、「株式会社そうじのカ」小早祥一郎氏よりアドバイスをいただきます。

これは一例。谷口班は学科教室担当で、上は蛍光灯カバーから下は床磨きまでチーム一丸となってがんばっています。「すごい！」と驚かされたのが教壇で、漫然と置いてあった教材が、切り抜かれたウレタンボードにピッタリ収まり乱れようがないのです。整った環境で教習をするのですから、背筋が伸びる教習ができるのです。

次に「カフェミロ」の松下班は、一般のお客様からゲストや職員の食事をはじめ、ホーム生の三食を調理することから、衛生管理上Mランドの中でも、特に大変で日頃の掃除はとても神経をつかいます。したがって、以前にも増して松下店長らスタッフが意欲的に厨房を磨いています。

次の写真は九年間使われているキッチン流しの下です。鏡のように磨き込まれた流し下の映像が研修会場に映し出されたとき、「おお！」と驚きの声が湧き上がりました。

「見えない所こそきれいにする」という小早氏のことばそのものです。

After

before

「そうじのカプロジェクト」は身の回りの整理・整頓・清掃をしながら心の整理・整頓もでき、このような整った心と環境から「こと」が始まるように思います。

ピッカピカに磨かれた流しの下

## 今月のありがとうカード

Mランドの皆さまへ

十三日間の合宿生活が終わり、無事卒業することができ、ありがとうございました。教習や合宿生活で感じた「(やわらぎ)・譲る」などは、これからの人生にとって貴重な財宝だと思っています。

中国から来られた日本在住六年目の武 子金様

## 編集後記

創立記念日の翌朝、会長から「今日を迎えられるのも、五十三年以上も前から、篠山に教習所を創ろうとされた地元の方々、その他たくさんの方々のご努力により、今日の日が迎えられたことを忘れてはなりません」と、ことばがありました。

今のこと、先のことしか頭にない私には、言われなければ気付かないことでした。直接ご縁のある方、間接的にご縁のある方のお陰で我々は生かされています。（徹）

## 『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

6／　7(日)　八上小学校　西トイレ
（Am8：00～9：00）

6／21(日)　篠山中学校　運動場トイレ
（Am8：00～9：00）

※参加していただける方は井本までご連絡ください。